



2019年12月12日発行

薬局通信

第98号



大阪母子医療センター

掲載薬品一覧

新規試用品目	院外専用医薬品	宅配処方専用薬
ムーベン配合内用液 500mL ボルヒール組織接着用1mL、3mL	メタクト配合錠LD フルティフォーム125エアゾール120吸入用 エンシュア・H（抹茶味） コントロール散1%（院内採用は10%） アトモキセチン錠10mg、25mg ゲンタマイシン点眼液0.3%「日点」	ホームPDシステムつなぐセット 排液バッグ ホームPDシステムつなぐセット キャップキット ホームPDシステムつなぐセット 接続チューブS ホームAPDシステムゆめセット （つなぐ4バッグ用少注液量セット） ホームAPDシステムゆめセット （つなぐ5バッグ用セット）
患者限定医薬品		
ミレーナ52mg ジャカビ錠5mg ゼンタコートカプセル3mg		
	採用中止薬	
	ベリプラスTPコンビセット 組織接着用1mL、3mL	

採用薬品の処方開始は、原則として 2020年1月6日 からとなります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

薬事委員会からのお知らせ

- ① アドナ錠 30mg、アドナ散 10%、アドナ注 25mg、トランサミン錠 250mg、トランサミン散 50%、トランサミン注 5%5mLは、それぞれ後発薬へ変更する。病院機構の他の4病院の採用後発薬に合わせて、順次切り替えていく。
- ② ルネトロン注射液 0.5mgが販売中止のため、院内在庫なくなり次第、削除とする。
- ③ テグレート錠 200mgは、処方量が少ないため、院外専用薬とする。
- ④ パナルジン錠 100mgは、期限切れ廃棄のため、院外専用薬とする。(2018年度不動薬)
- ⑤ メジコン散の後発薬への変更に伴い、院内製剤である咳A、咳B(アスベリン散、メジコン散、ペリアクチン散)に含まれるメジコン散も後発薬へ切り替えとする。
今後、院内製剤の処方量を確認し、院内製剤の見直しを実施する。
- ⑥ 細菌染色用ピオクタニンブルー1%溶液(当院は、試薬を採用)の含有成分であるメチルロザニリン塩化物に関して、他社製品(医薬品)(0.2%ピオクタニン水溶液「ホンゾウ」)が発がんリスクの可能性があるため、販売中止となった。当院で、細菌染色用ピオクタニンブルー1%溶液を使用している診療科においては、今後の使用について検討いただき、その結果を収集し、次回の薬事委員会で病院としての対応を検討する。

新規試用医薬品

ムーベン配合内用液 処方箋医薬品

(日本製薬) 経口腸管洗浄剤

一般名：塩化ナトリウム、塩化カリウム、炭酸水素ナトリウム、無水硫酸ナトリウム

効能効果：大腸内視鏡検査及び大腸手術時の前処置における腸管内容物の排除

用法用量：本品1本(500mL)を水で4倍に希釈して全量約2Lの希釈液とする。

通常、成人1回希釈液2~4Lを1時間あたり約1Lの速度で経口投与する。ただし、排泄液が透明になった時点で投与を終了し、4Lを超えての投与は行わない。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：可

薬価：596.³円/500mL

ボルヒール組織接着用 1mL、3mL 処方箋医薬品 特定生物由来製品

(日本血液製剤機構) 血漿分画製剤(生体組織接着剤)

一般名：フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子

効能効果：組織の接着・閉鎖(ただし、縫合あるいは接合した組織から血液、体液または体内ガスの漏出をきたし、他に適切な処置法のない場合に限る。)

用法用量：フィブリノゲン凍結乾燥粉末（バイアル1）をフィブリノゲン溶解液（バイアル2）全量で溶解し、A液とする。

トロンビン凍結乾燥粉末（バイアル3）をトロンビン溶解液（バイアル4）全量で溶解し、B液とする。溶解した両液の等容量を接着・閉鎖部位に重層又は混合して適用する。

通常、10cm²あたりA液B液各々1mLを適用する。

なお、接着・閉鎖部位の状態、大きさなどに応じて適宜増減する。

処方区分：院内処方可

薬価：11609.⁸円/1mL、31845.²円/3mL